

山梨県国土利用計画審議会会議録

1 日 時 平成23年2月9日(水) 午後1時30分～午後2時20分

2 場 所 ホテル談露館 1階 アンバー

3 出席者

・ 委 員 (五十音順、敬称略)

芦澤公子	天野 一	飯窪さかえ	市川三千雄
市原文子	上原勇七	坂本 康	塩島 學
鈴木孝子	谷口一夫	原田重子	樋口歌奈子
向山文人	以上13人		

・ 県 側

中澤正徳	(企画県民部長)		
深沢侑企彦	(森林環境部技監)	上田 仁	(県土整備部技監)
宇野聡夫	(森林整備課長)	山本重高	(農村振興課長)
山下雄康	(都市計画課まちづくり推進企画監)		
橘田 恭	(事務局 企画課長)	三富 学	(事務局 総括課長補佐)

4 傍聴者等の数 2人

5 会議次第

- (1) 開会
- (2) 委員委嘱
- (3) 企画県民部長あいさつ
- (4) 会長あいさつ
- (5) 議事
- (6) 閉会

6 委員の委嘱、役員選出

審議に先立ち、山梨県国土利用計画審議会第13期委員の委嘱状を交付するとともに、各委員を紹介した。また、委員の互選により、会長に上原勇七委員を、副会長に塩島學委員及び岡村美好委員を選出した。

7 会議に付した議題 (すべて公開)

- (1) 山梨県土地利用基本計画の変更(案)について
- (2) その他

8 議事の概要

(1) 山梨県土地利用基本計画の変更（案）について

事務局から資料1から資料4により、「山梨県土地利用基本計画の変更（案）について」説明をし、次のとおり質疑応答のうえ、異議なしとされた。

(議長)

何か意見や質問があればお願いしたい。

(委員)

都市地域としては残るとのことだが、どのような地域なのか。

(都市計画課まちづくり推進企画監)

線引きのない都市計画区域内の用途指定のない地域である。

(議長)

他に何か御意見がなければ、今回の土地利用基本計画の変更（案）は、承認いただいたということによろしいか。

～異議なし～ の声

(議長)

委員の皆様全員に異議なく御承認をいただいた。

(2) その他

森林整備課長から資料5により、「林地開発に係る森林地域の変更見込み」について報告したところ、次のとおり質疑応答があった。

(議長)

資料5の番号1、東海旅客鉄道株式会社の工場用地は、リニアと関係があるのか。

(森林整備課長)

鉄道用地ではなく、リニアの工事をする際に必要な工場用地である。

(議長)

トンネルで使用する用地は、計画図の変更が必要なのか。

(事務局)

地下であれば、計画図には影響がない。

(委員)

資料5の番号4、鉄道・運輸機構の鉄道用地とは、リニアと関係があるのか。

(森林整備課長)

リニアの用地としての許可案件である。

(委員)

許可案件9件は、県に林地開発許可の申請が出ているということなのか。

(森林整備課長)

いずれも許可が出ている。

(委員)

許可案件は22ヘクタール、連絡調整案件は25ヘクタールあり、森林地域の縮小が多い。一昨年、県でまとめた地球温暖化対策実行計画では、森林吸収分が多く含まれており、47ヘクタールは僅かだが、温暖化対策の計画に影響が出ないように、他部局との調整をお願いしたい。

(森林整備課長)

県内の森林は、森林吸収源対策として大きな役割を果たしている。森林は県内全体で35万ヘクタールある。森林法では、むやみな開発がないよう開発許可制度がある。今後も引き続き適切に運用していきたい。

(委員)

農業地域の拡大という案件もあるのか。

(事務局)

本日の案件にはないが、拡大ということも考えられる。

(委員)

森林法の許可案件では、埋蔵文化財調査は完了しているのか。

(森林整備課長)

教育委員会などで、埋蔵文化財の確認をした上で、開発をしている。

(委員)

過去、どのような場所で埋蔵文化財調査を行ってきたのか。

(森林整備課長)

道路整備では、よくある。

(委員)

私のところに、埋蔵文化財調査の報告が入ってきていない。後日教えてもらいたい。

以上、他に質問、意見がなく、審議会を終了した。